

## 武漢事務所週刊ニュース（2012年5月12日～25日）

### 武漢五芳齋シリーズが「楚粽」に商品名を改める

5月21日長江日報

あの有名な武漢三鎮の武漢五芳齋のちまきが今後、“楚粽（ちまき）”に商品名を変更する。

昨日、五芳齋大智路門店で、端午の節句に合わせて売られている商品のお土産用の包装に、“楚粽”と書かれているのを発見した。みんなに親しまれている“武漢五芳齋”の字は包装の端っこのほうに小さく書かれ、見つけるのが難しくなっていた。

武漢五芳齋食品貿易会社の張永利総経理によると、この商標名を取得するのに申請から2年もの時間を要した。新たな商標名は“楚粽”であるが、五芳齋の湯円、菓子、カップ麺、調味料などの10種類に用いられている。今後、全国に向けて“楚粽”の商標を使って宣伝していくとのことである。

武漢五芳齋はなぜみんなに親しまれている“五芳齋”の商標を捨て、新しいブランド名を打ち立てたのであろうか？張総経理によると、この“五芳齋”の文字商標は浙江五芳齋がすでに登録を行っており、武漢五芳齋は今のところ“五芳齋”の図形商標と産地証明商標しか申請していない。国家商標法の規定によると、武漢五芳齋は“五芳齋”と区別するために、商品の包装物に“武漢五芳齋”と記すことしかできない。産地証明商標を使用している商品を扱ってよい地域は限られているため、武漢五芳齋産品は他の省で販売することができない。そのため、武漢五芳齋は他の省で販売するために新たな名称を使用する必要があったとのことである。

### 武漢市 2012年1月～4月期の工業投資額が前年同時期に比べ79.1%増

長江ネット

武漢市では引き続き“工業倍增”を順調に推し進めている。武漢市経済及び情報化委員会が昨日発表したところによると、1月から4月期の武漢市の“工業倍增”計画の実施状況は、全市の協業投資は369.51億元（約4,803億円：1元13円で計算、以下同じ）で、前年同時期に比べ、79.1%の増額であり、評価できる状況が続いている。

報告によると、その前の4ヶ月は全市の固定資産投資に工業投資が占める割合は32.4%で、前年の同時期よりも10%増加している。3つの開発区では145.11億元（約1,886億円）で、前年同時期よりも92.39%の増加、全市の工業投資額に占める割合は39.3%となっている。

それぞれの区ごとに見ていくと、投資額の順位は、武漢開発区、東湖開発区、江夏区となっている。

1月～4月期の全市における5億元（約65億円）以上の新たに契約に至ったプロジェクトは32件、435.2億元（約5,657億円）で、現在協議中のプロジェクトは96件、総投資額は1,677億元（約2兆1,801億円）となっている。全体を見てみると、プロジェクトの締結は安定して進んでおり、商談も好調に進んでいる。しかし、50億元（650億円）以上の大きなプロジェクトはまだそれほど多くはない。

## 武漢市が「博物館のまち」へ 『博物館の地図』を発行

武漢には各種の博物館が50以上あり、豊富な「心の栄養」を市民に提供している。昨日、“博物館のまちの実現・博物館に行こう”活動の開幕式が行われた。武漢市内の全ての博物館の住所が分かる『武漢博物館地図』を正式に発行した。

武漢市は国家級の歴史的な文化都市であり、文化遺産が多く、博物館に展示するレベルの資源が数多くある。現在23の国立博物館があり、民間が経営している博物館が29ある。博物館の参観は武漢市民にとって、歴史を理解でき、知識を増やし、文化レベルを向上させる重要な道筋となっている。

博物館の位置を詳しく掲載している『武漢博物館地図』は、自治区、機関、学校、飛行場、駅等で無料にて配布しており、市民や旅行者が手にして見ることができる。